

協働

森林・里山活動団体との交流

日時：平成22年10月17日（日） 10:00～17:40

講師：森林里山活動団体（人と自然の共生国際フォーラム参加）

概況



●活動事例発表会

ファシリテーターに長谷川明子氏を迎え、9月に実施したフィールドワークの結果報告と、県内の企業や活動団体による取り組みについての発表があり、活発な意見交換が行われました。

●基調講演「里地・里山と生物多様性」

里山は生物の種類が非常に豊かですが、人々の生活から離れ消えつつある今、もう一度資源として見直して循環型社会につなげ、みんなで共同管理をする仕組みづくりが必要だという話がありました。そして「SATOYAMA イニシアティブ」について、策定を主導された立場から説明があり、発展途上国にも同じような課題があり、生物多様性の減少を招かず持続可能な開発を進めるために、一緒に問題解決の道筋を探っていくことが大事だという話がありました。

●パネルディスカッション

森林・里山をキーワードに、各パネリスト及びコメンテーターの様々な視点・経験から意見が出され、生物多様性をどう捉え、活動につなげていくかについて、活発な議論が行われました。

●フォーラム宣言・閉会式

活動事例発表会、基調講演、そしてパネルディスカッションでの議論の結果を受け、「フォーラム宣言(案)」のとりまとめが行われ、コーディネーターの川井氏から参加者に提案されました。この宣言は、会場の参加者の温かい拍手を持って採択され、CO

P10 を機に高まる生物多様性への関心を森・里・海を守る活動につなげ、自らも具体的に行動していくことが約束されました。